

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    |    | えつぽJr.   |    |     |   | 公表日                                   | 令和8年2月26日 |
|---------|----|--|----|-----|---|---------------------------------------|-----------|
|         |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点                             |           |
| 環境・体制整備 | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 3  | 1   | 狭い中だが、早く来所されるお子様、遅くに来所されるお子様と部屋を分けて集中が続くようにしている | 4月から事業所が移転し、部屋数も多くなるので、より充実した療育ができる   |           |
|         | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 4  |     |   |                                       |           |
|         | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 3  | 1   | 視覚支援を分かりやすい場所に貼ってある                             | 活動に合わせた空間の構造化が出来ていない                  |           |
|         | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 3  | 1   | 清潔保持出来ている                                       | 学習と遊びの空間をまずは分けたい                      |           |
|         | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 3  | 1   | カームダウンスペースを設置し、お子様の状況に応じて利用できる                  | 複数人いると対応出来ない状況である。少なくとも3つあると良い        |           |
| 業務改善    | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 4  |     | 職員全体での意見交換、実施、振り返りを行っている                        | 正社員が主に参画しており、パート職員からも意見をくみ取れるようにしていく  |           |
|         | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 4  |     |   |                                       |           |
|         | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 4  |     | ミーティング、職員打ち合わせ、職員研修などを設け、改善に努めている               |                                       |           |
|         | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 2  | 2   | R7.12月に監査が行われた。指導を業務に反映させている。                   | 委員会を設置していない。法人理事会にて取り上げてもらうこととする      |           |
|         | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 4  |     | 毎月1回、パート職員も含めて職員研修の機会を設けている                     | お子様への実際の支援について、パート職員と共有できる機会を増やしていく   |           |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 3  | 1   | SNSでも支援内容を発信している                                | 支援プログラムはホームページに公表されているが、変更部分を反映すべきである |           |
|         | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 4  |     |   |                                       |           |
|         | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 4  |     | モニタリングや日々の共有を行う中で、職員の共通理解がなされている                |                                       |           |
|         | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 4  |     | 児童ごとの目標、支援が職員間で共有されている                          |                                       |           |
|         | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 4  |     | 日々の行動観察から、アセスメントをミーティングで共有している                  |                                       |           |
|         | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4  |     | 具体性のある目標、支援内容が設定されている                           |                                       |           |
|         | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 4  |     | 担当曜日のスタッフで共有しながら立案している                          |                                       |           |
|         | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 4  |     | 曜日ごとの活動も、毎週内容が工夫されている                           |                                       |           |

|              |    |  |   |   |  |                                    |
|--------------|----|--|---|---|--|------------------------------------|
| 供            | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 4 |   |  |                                    |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 4 |   |  | 土曜日の事前打ち合わせを金曜日に出来る方が良い            |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 3 | 1 | 児童の情報共有を時間を取って丁寧にやっている                     | 土曜日の支援の振り返りを行えない場合がある              |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 4 |   | 「びごっと」を用いて記録を残している                         |                                    |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 4 |   | 毎月第2週はモニタリング、支援計画案作成としている                  |                                    |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | 4 |   |  |                                    |
|              | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 4 |   | 毎月最終金曜は「えつぼクラブ活動」とし、お子様自身がやりたい活動を決めて参加している |                                    |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 4 |   |  |                                    |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 4 |   | 学校、相談支援事業所との連携を密にしている                      |                                    |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 4 |   |  |                                    |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 2 | 2 |  | 施設側との直接連携や情報共有は出来ていない              |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   |   | 4 | 未だ障害福祉サービスを利用される年齢のお子様はいない                 | 今後、就労となるお子様の情報共有や連携をしていく           |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            |   | 4 |  | 地域の施設（病院、児童発達支援）と連携の機会は少ない         |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 2 | 2 | 「紙芝居・絵本の読み聞かせの会」「ホタルの観察会」などに参加した           | センター主催の研修会に参加する地域など、外部交流の場があるとより良い |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 4 |   | 参加している                                     |                                    |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 4 |   | 状況に合わせて、保護者様と面談を行う機会を設けている                 |                                    |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | 4 |   | 今年度は、ペアレントトレーニング（6回講座）を行った                 |                                    |
|              | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 4 |   |  |                                    |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 |   | お子様やご家族の意思・意向を尊重したサービス提供に努めている             |                                    |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 4 |   |  |                                    |
|              | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                      | 4 |   |  |                                    |

|          |  |  |   |   |  |                                     |
|----------|--|--|---|---|--|-------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 4 |   | 3月の「ふりかえりの会」で、保護者様同士の交流の場を設けた                          |                                     |
|          | 41   | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 4 |   |  |                                     |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 4 |   | ホームページ、SNSで積極的な発信をしている                                 |                                     |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 4 |   |  |                                     |
|          | 44   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 4 |   | 保護者様には、「びこっと」やメール等を通して情報の共有をしている                       |                                     |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 3 | 1 | 「薬草講座」は、地域の方々も参加出来る活動として好評を得ている。「ふりかえりの会」で、地域の方も招待している | 3月の「ふりかえりの会」に地域の方を招待する              |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 4 |   | 毎年8月にご利用のお子様、職員で避難訓練を実施している                            |                                     |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 4 |   | BCPを整備し、防災用品、備蓄を行っている                                  |                                     |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 4 |   | お子様の服薬状況など、職員全体が広く把握出来るよう情報共有している                      |                                     |
|          | 49   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 4 |   | アレルギーのあるお子様の情報について、職員の分かりやすい所に掲示して、常に見えるようにしてある（手順の統一） |                                     |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 4 |   | 設備点検を毎月実施している  | 避難の導線や職員の初動など、ロールプレイが必要である          |
|          | 51   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 3 | 1 | 玄関先にファイルを提示したり、取り組み内容をSNSで発信したりしている                    |                                     |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 4 |   | ヒヤリハットについて、都度報告書の作成、共有をし、再発防止に努めている                    | 正社員のみでの共有のため、打ち合わせ時にパート職員とも共有が必要である |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 4 |   | 職員研修にて、虐待について学ぶ機会があった                                  |                                     |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 3  | 1 |   |  |                                     |